

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされました。2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができる、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議



こんにちは♪さて、「何もない」と思われている(?)大川原地区ですが、なんとジエルネイルができるんです!! 場所はプレハブの仮設店舗で、営業中の町の雀荳貸屋「鈴木商店」店長の鈴木真理さんが「指先を施術の様子です 完成が楽しみ♪ 彩ってくれます♪

大川原でネイルアート

ネイルを体験したKさんの話



仕事場でも安心のベージュを選びました。所要時間は約2時間ですが、一緒にお店を経営する母・孝子さんとおしゃべりしているとあ、という間。丁寧な施術に大満足です!

* ♪ 完成～!! ♪ *



施術予約はこちら↓↓↓

080-5030-2020



約140色と豊富なバリエーション

「町中の女性のつめを真っ赤に染めたい!」という真理さん。そんな町にな、たら素敵♪ お客様は大川原の公営住宅のほか、富岡町やいわき市からも。ある70代の女性は初めてのネイルに、じ弾ませてデートに臨んだそうです。ぜひネイルを体験しに大川原にいらっしゃってください!

大川原地区では、三つの商店が「プレハブ」の仮設店舗で営業をはじめています。鉢木商店と滝本電器は店といふよりもはや町民の交流の場!! ヤマザキショップは町内で働く人たちの食事などの調達先として、日々にぎわっています。



鉢木商店

生活雑貨、化粧品など。
「仮設店舗じゃなくなら、もう少し女子が楽しめる雑貨を置きたい!」と真理さん。「ぜひ!」と即答する取材中の職員(女子・写真右)。
楽しめます

滝本電器

家電販売。滝本真照さん、英子さんご夫妻に配達、とりつけまでおまかせ。「みんなの顔を見るだけでうれしい」と笑うお二人に会いに来るのが取材中も途切れませんでした。



ヤマザキショップ

町のコンビニ。お昼時は「復興事業に携わる業者さんも多いです」と店長の赤間崇さん。今回、クリスマスケーキの注文書を見た! これで町内のクリスマスパーティも安心です。